

## 屋敷・檜木平・熊沢自治区 町政懇談会 会議録

### 1. 開催日時

平成28年7月26日（火） 午後6時30分～8時20分

### 2. 対象地区・団体

屋敷・檜木平・熊沢自治区

### 3. 代表者・参加者

伊藤優一屋敷自治区長、石川正光檜木平自治区長、佐藤勘一熊沢自治区長  
参加者計24人

### 4. 開催会場

熊沢集会所

### 5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、企画情報課長 大竹 享、健康福祉課長 渡部英樹、建設水道課長 成田信幸、町民税務課長 五十嵐博文、商工観光課長 伊藤善文、建設水道課長補佐 佐藤広悦、企画情報課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課主査 武藤洋一

### 6. 代表自治区長あいさつ 伊藤優一 屋敷自治区長

今回初めて大字屋敷地区で町政懇談会を開催することになりました。皆様にはお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。この後、伊藤町長からの町政方針の説明、そして、3自治区より事前に提出しました地域課題等に対し各課長より回答があると思います。有意義な町政懇談会になりますよう皆様のご協力をよろしくお願いします。

### 7. 町長あいさつ及び町政方針説明

今年度の町政方針、町の地方創生の取り組み、重点事業などを説明。具体的には、人口減少・地域活性化対策の地方創生では、産業活性化と雇用拡大を図るため、菌床きのこ栽培の大規模産地化や、森林資源を活用したオガ粉生産、チップ・ペレットなど木質バイオマス燃料生産などを検討する森林資源活用型新産業づくり計画の策定を進めていること、また、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、今年度から出産祝金を第1子目からの支給に拡充するとともに、来年4月の開園に向け認定こども園を整備していることなどを説明。

交流人口の拡大では、道の駅にしあいつ内の地域連携販売力強化施設「ミネラル野菜の家」（8月2日オープン）について、さらに、国際芸術村事業や、地域おこし協力隊の活動による誘客、移住・定住推進の取り組みについて、また、生活環境整備では、国道49号睦合地区からのトンネル化による代替路整備「会津防災事業」の早期着工に向けた町の取り組みなどについて説明。

### 8. 事業説明

家庭ごみの分け方・出し方について、資料により五十嵐町民税務課長が説明。

## 9. 地域課題等について

3 自治区から事前に提出された地域課題等に対して、それぞれ担当課長等より回答。内容は別紙のとおり。

## 10. 意見交換等

### [質問等]

檜木平自治区内の除雪関係で、道路の幅員が狭いため除雪作業によって路肩が下がり舗装が壊れてしまいます。毎年の修繕（申し送りなどの方法により）をお願いしたい。

### [町]

現地を見せてもらいました。集落内の幅員の狭い道路を大きい除雪車両を使って除雪しているため、大きな除雪車が入るのであれば、抜本的に道路を改良しないと毎年同じ問題が繰り返えされます。

今年は稲刈り後に修繕させてもらいますが、道路改良しないと解決できない問題であるため、自治区において、地権者等の了解を得た上で、改めて町に改良の要望を出してもらって、町としては対応していきたいと思います。

### [質問等]

集落入口の滝の上の水路について、柵に蓋をしてしまうと、田に水を引いているため、水調整ができなくなってしまう。水路を斜めになおして、水が暗きよに直接流れるようにすればいいのではないのでしょうか。

### [町]

町としては、柵に蓋をし、水の勢いで持ち上がらないように蓋をアンカーで固定する方法を考えていました。現場で地元の皆さんと打合せをして、よりよい方法で対応したいと思います。

### [質問等]

男滝、女滝ウォークについてですが、今後、どのような方向で開催していくのでしょうか。できれば地元の人たちも一緒に協力し合って、もっと地域を活性化することができればと個人的に考えています。

### [町]

第1回目の今年は、にしあいつ観光交流協会の主催で、沢を歩くため募集人員を20名としたところです。町も観光交流協会においても、今後は、地域資源を活かした体験ツアーの一つとして継続的に取り組んでいきたいと考えています。ウォークに合わせた形で、何か、地域の皆さんでイベントを実施していただくなど、ご協力をいただけるのであれば、町としては非常に助かります。

町では、活力ある地域づくり支援事業補助金で、自治区等の地域づくり活動を支援しています。1団体1事業で50万円以内とし、補助率は75%です。最大3年の継続利用も認められていますので、その中で、こういう事業をやってみたいといったことがございましたら補助申請していただければと思います。こうした補助制度を使っただけで地域を盛り上げていただければと思います。いま奥川地区などでは、昔の祭礼を復活させるなどの取り組みを行っているところがあります。

[質問等]

男滝、女滝に関連し、毎年、熊沢では8月24日に不動様まで草刈り作業を行っています。こうしたことでも町とタイアップすれば、もっといろいろなことができるのではないかと思います。2年前ぐらいからアブがものすごく多いので、去年は7月20日ごろ、今年は6月末に時期を早めて草刈りを実施しました。

[町]

共同での草刈り作業など、地元の皆さんとともに連携しながら対応していきたいと思いません。

[質問等]

イベントに関連して、不動様から安座に抜けるような形にして、安座のおとめゆりまつりなどとの連携を考えることはできますか。

[町]

地元の皆さんと一緒にまず現地を見させてもらいたいと思います。

[質問等]

屋敷の水道施設について、町で多額の費用をかけて行っていただくのはありがたいですが、いつまでに、どこまでできるのかといった説明をお願いしたい。

[町]

この間、自治区への説明をしっかりと行ってこなかったことをお詫びします。ほかの地域の水道と大きく異なるのは、水質の問題で、鉄、マンガンなどが多く、これを除去しなければ、飲料水として利用することができず、そのための装置を付けなければならないという点です。今まであまり無かったケースであり、なかなか進めることができませんでした。今日は、浄水方法や事業費、地元負担などについて説明させていただきました。具体的には平成29年5月に工事に着手したいというスケジュールで、平成30年3月までに事業を完了する見込みです。

それから、檜木平の水源については、あちらこちらを多数調査し、ようやく水源を見つけ利用できるようになりましたが、濁水で水が無くなってしまいました。先ほど石川区長より旧小学校に井戸があることをお聞きしましたので、その調査をさせていただきたいと思いません。

[質問等]

檜木平では、高齢化に伴い、特に冬期間、水が出なくなった場合など、水源地を見に行くことができるか危惧しています。可能であれば屋敷の水を引いてはとも考えますが、こちら側の高台に上げれば屋敷自治区に落差で水がいくと思いますかどうか。

今のところは、雨が降ると濁りますが、間に合っています。春の最初の大雨で一番濁ります。その後の雨ではそんなに濁らない状況です。

[町]

屋敷の水を利用する方法は、これからの検討課題であると思いません。

屋敷の新たな水源を探すため、西山地域の調査も実施しましたが、水量が少ないという結果でした。

**[質問等]**

屋敷でも夏場、水不足になることがあります。飲み水だけでも給水車を出してもらおうなどの対応をお願いしたい。遠くまで水を汲みに行かなければならず、特に高齢者にとっては大変です。

**[町]**

そういった状況になったときは、町に連絡をもらい、給水対応を実施したいと思います。檜木平においても同じく対応したいと思います。

**[質問等]**

町道の草刈りについて、町が雇う作業員が草刈りを行っている路線もありますが、屋敷地区では、年に3～4回、地元で刈っている状況です。作業できる住民が減ってきているので、せめて燃料代、草刈り機械の刃などについて町で負担してもらえないでしょうか。

**[町]**

高齢化が進み、草刈り作業できる住民が減っている現状から、以前と同じように地元自治区で対応してもらおうことが厳しくなっていると認識しています。ほかの自治区からも同じような意見等があがっており、町全体の課題になりつつありますので、金銭による補助がいいのか、あるいは資材、機械の貸与の方法がいいのかなど、町全体を見ながら検討させていただきたいと思います。